【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公開番号】特開2003-122453(P2003-122453A)
【公開日】平成15年4月25日(2003.4.25)
【出願番号】特願2001-321066(P2001-321066)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　1/16
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　1/00　３１２Ｅ
　Ｇ０６Ｆ　1/00　３１２Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月19日(2003.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回路基板を備えた本体と、
前記本体に開閉自在に結合した表示部と、から成る電子機器であって、
前記本体は、前記開閉の中心軸と並行ではない２つの側面を有し、
前記２つの側面は、
互いの側面の間隔が、前記表示部における前記開閉の中心軸と同一方向の幅よりも狭い第１の部分と、
互いの側面の間隔が、前記第１の部分よりも広い第２の部分と、を有し、
前記第２の部分は、前記第１の部分よりも、前記開閉の中心軸から遠い部分であること、
を特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記第２の部分は、前記側面のうち、前記開閉の中心軸から最も遠い部分の近傍に設けられていること、
を特徴とする請求項１記載の電子機器。
【請求項３】
前記２つの側面は、
互いの側面の間隔が前記第１の部分よりも広く、かつ前記第２部分よりも狭い第３の部分を有し、
前記第３の部分は、前記表示部を閉じた場合に、前記第１の部分よりも前記表示部に近い部分に位置すること、
を特徴とする請求項１又は２記載の電子機器。
【請求項４】
前記第２の部分は、前記表示部における前記開閉の中心軸と同一方向の幅よりも広いこと、
を特徴とする請求項１乃至３記載の電子機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
本発明による電子機器は、回路基板を備えた本体と、前記本体に開閉自在に結合した表示部と、から成る電子機器であって、前記本体は、前記開閉の中心軸と並行ではない２つの側面を有し、前記２つの側面は、互いの側面の間隔が、前記表示部における前記開閉の中心軸と同一方向の幅よりも狭い第１の部分と、互いの側面の間隔が、前記第１の部分よりも広い第２の部分と、を有し、前記第２の部分は、前記第１の部分よりも、前記開閉の中心軸から遠い部分であること、を特徴とするものである。